

令和元年9月26日

令和元年度国立大学法人運営費交付金における評価結果について

令和元年度国立大学法人運営費交付金の一部を傾斜配分する制度の評価結果について、令和元年8月に文部科学省が公表。

令和元年度においては、平成28年度から実施されてる従来の制度「機能強化の方向性に応じた重点支援」に加えて、客観的共通指標による「成果を中心とした実績状況に基づく配分」が新たに導入されている。本学の評価結果は下記のとおり。

【弘前大学の評価結果】

◆ 機能強化の方向性に応じた重点支援

- 各大学が地域貢献などの3つの重点支援の枠組みの中から、いずれかの枠組みを選択。その枠組みに応じて、各大学が構想した戦略に対する予算
- 国立大学の運営費交付金のうち、総額約300億円を評価対象経費（うち、弘前大学の評価対象経費は約2億円）
- 進捗状況の評価結果に応じて、評価対象経費を配分率95～105%の範囲で5段階に傾斜配分
- 弘前大学は、地域貢献の枠組みを選択した55大学の中で上位4位の評価結果となり、最上位の配分率105%が適用され、評価対象経費の約2億円に対して、1,020万円の増額措置
- 地域貢献の枠組みを選択した55大学のうち、本制度が導入された平成28年度から4年間続けて配分率100%を超えている大学は、弘前大学を含めて4大学のみ（北海道・東北地区では、弘前大学が唯一）

◆ 成果を中心とする実績状況に基づく配分

- 共通指標に基づく客観性の高い評価・資源配分の仕組みとして新たに導入
- 国立大学の運営費交付金のうち、総額約700億円を評価対象経費（うち、弘前大学の評価対象経費は約5億円）
- 各共通指標ごとに、評価結果に応じて、評価対象経費を配分率90～110%の範囲で5段階に傾斜配分
- 弘前大学は、下記のとおり、全ての指標において配分率100%以上となり、評価対象経費の約5億円に対して、1,787万円の増額措置
- 地域貢献の枠組みを選択した55大学のうち、全ての指標が配分率100%以上となっている大学は、弘前大学を含めて8大学のみ（北海道・東北地区では、弘前大学を含めて3大学）

共通指標		配分率
① 会計マネジメント改革の進捗状況		100%
② 教員一人当たり 外部資金獲得実績	i) 研究教育資金獲得実績(共同研究等)	105%
	ii) 経営資金獲得実績(寄附金等)	105%
③ 若手研究者比率		105%
④ 人事給与マネジメント改革の進捗状況		100%
⑤ 施設マネジメント改革の進捗状況		105%

